

令和6年度 専攻科学生募集要項

〔 専 攻 科 案 内 〕 〔 出 願 書 類 〕

推薦による 選 抜	出 願 期 間	令和5年5月10日（水）～12日（金）
	試 験 実 施 日	令和5年5月19日（金）（本校以外からの出願者のみ）
	合 格 発 表 日	令和5年5月25日（木）
	入学確約書提出期限	令和5年6月2日（金）
学力試験に よる選 抜	出 願 期 間	令和5年6月7日（水）～9日（金）
	試 験 実 施 日	令和5年6月17日（土）
	合 格 発 表 日	令和5年6月22日（木）
	入学確約書提出期限	令和6年1月12日（金）
社 会 人 特 別 選 抜	出 願 期 間	令和5年11月15日（水）～17日（金）
	試 験 実 施 日	令和5年11月25日（土）
	合 格 発 表 日	令和5年11月30日（木）
	入学確約書提出期限	令和6年1月12日（金）

（注）新型コロナウイルス感染拡大の影響により出願手続等に変更が生じる場合があります。
その場合は本校ホームページ上でお知らせしますのでご確認ください。



独立行政法人国立高等専門学校機構
福島工業高等専門学校

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
T E L 0246-46-0721（学生課入試係）
F A X 0246-46-0742（学生課）
E-mail nyuushi@fukushima-nct.ac.jp
U R L <https://www.fukushima-nct.ac.jp/>

目 次

〔専攻科学生募集要項〕

I アドミッションポリシー（入学者受入方針）	1
II 募集人員	2
III 選抜方法	2
IV 高等専門学校長の推薦による選抜	2
V 学力試験による選抜	5
VI 社会人特別選抜	8
VII 個人情報の利用について	11
VIII 特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談	11
別表1 英語に関する「推薦選抜・社会人特別選抜」の出願基準と提出書類	12
別表2 英語に関する提出書類（学力試験選抜）	13
◎検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合について	14

〔専攻科案内〕

1 専攻科の目的	17
2 専攻及び入学定員	17
3 修業年限及び修了要件等	17
4 学位（学士）の取得	17
5 専攻科のディプロマポリシー（修了認定方針）	17
6 専攻科のカリキュラムポリシー（教育課程編成方針）	19
7 専攻科の科目構成	22
8 専攻科の入学及び進路状況	29
9 入学時に必要な諸経費（予定）	30
10 入学料・授業料の免除	30
(1) 入学料免除	30
(2) 授業料免除	30
11 奨学金制度	30
12 復興人材育成特別プログラム	30

〔出願書類〕

1 専攻科入学願書	2 写真票・受験票	3 推薦書（推薦選抜用）
4 承諾書（社会人特別選抜用）	5 調査書	
6 専攻科志望調査書（推薦選抜用・社会人特別選抜用）		

令和6年度 専攻科学生募集要項

I アドミッションポリシー（入学者受入方針）

アドミッションポリシー（入学者受入方針）は、本校の学習・教育目標を達成できる能力を持った人を入学させるための方針で、次のように定められています。

求める学生像

全専攻

1. 専門の知識と基礎技術を有し、より高度な実践的かつ創造的技術を修得する意欲のある人（知識・技能）
2. 工学と経営の融合した分野に強い興味を持っている人（思考力・判断力・表現力）
3. 職業人としての倫理観を身につけ、専門分野で地域及び社会の発展に貢献したい人（主体性・協働）

産業技術システム工学専攻

【生産・情報システム工学コース】

1. 機械・電気の専門的な基礎力を有し、機械・情報を活用した創造的なモノづくりに興味を持っている人
2. 生産・情報分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

【エネルギーシステム工学コース】

1. 機械・電気の専門的な基礎力を有し、エネルギー分野に興味を持っている人
2. エネルギー分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

【化学・バイオ工学コース】

1. 応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の学修と研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応できる知識とスキルを修得したい人
2. 工学を修める者としての確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

【社会環境システム工学コース】

1. 建設・環境工学の研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応する知識とスキルを修得したい人
2. 確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

ビジネスコミュニケーション学専攻

【ビジネスコミュニケーション学コース】

1. 現代社会への幅広い関心を持ち、社会科学の研究と、語学や情報、環境問題などの関連分野の学習に打ち込む意欲を持っている人
2. たしかなコミュニケーション能力と情報リテラシーを身につけ、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍する意欲のある人

入学者選抜の基本方針

高等専門学校卒業程度の、各専門で必要な基礎的素養（工学系では、数学、各専門分野の基礎的知識・能力、ビジネス系では経営学分野の基礎的知識・能力）を有していることを評価します。

評価方法は、推薦による選抜では推薦書・調査書・志望調査書、学力試験による選抜では調査書・志望調査書・学力試験、社会人特別選抜では調査書・志望調査書および面接とします。

また、外国語による国際的コミュニケーション基礎能力を有していることを、英語の資格に関する証明書で評価します。

Ⅱ 募集人員

産業技術システム工学専攻	16名
ビジネスコミュニケーション学専攻	4名
計	20名

Ⅲ 選抜方法

入学者の選抜は、「高等専門学校長の推薦による選抜」、「学力試験による選抜」及び「社会人特別選抜」とし、次のとおり実施します。

選 抜 区 分	選 抜 試 験 日
高等専門学校長の推薦による選抜	令和5年5月19日（金）
学力試験による選抜	令和5年6月17日（土）
社会人特別選抜	令和5年11月25日（土）

Ⅳ 高等専門学校長の推薦による選抜

1. 出願資格

以下の（1）と（2）の両方を満たす者とし、ただし、同一学校の同一学科（多コース制をとっている高専については同一コース）から推薦できる出願者の上限を4名とします。

（1）次の各号のいずれにも該当し、高等専門学校長の推薦を得た者

- ① 令和6年3月に高等専門学校卒業見込の者
- ② 本校に合格した場合、確実に入学する意思がある者
- ③ 4学年次全科目の評価を下記の「内申点換算基準」により換算した内申点の平均点（小数点第2位を切り捨て）が4.2以上の者又は4学年次の席次が学科内順位50%以内の者

優…… 5 良…… 4 可…… 3

（2）英語において、別表1に挙げる各テスト・検定の証明書等を有し、出願基準を満たしている者

2. 出願手続

（1）入学願書受付期間

- ① 期 間：令和5年5月10日（水）～5月12日（金）（郵送の場合は5月12日（金）16時必着）

受付時間は、9時～12時、13時～16時までとします。

- ② 場 所：福島工業高等専門学校 学生課入試係

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL：0246-46-0721 FAX：0246-46-0742

E-mail：nyuushi@fukushima-nct.ac.jp

(2) 出願書類：出願に必要な書類は、次のとおりです。

①入 学 願 書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
②受 験 票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
③写 真 票	本校所定の用紙に最近 3 カ月以内に撮影した上半身、正面脱帽の写真(4.5cm×3.5cm)を貼付し、所定の事項を記入したもの。
④推 薦 書	本校所定の用紙により、在籍(出身)学校長が作成し、厳封したもの。
⑤調 査 書	本校所定の用紙により、在籍(出身)学校長が作成し、厳封したもの(高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書を添付すること)。
⑥志 望 調 査 書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
⑦英語の資格に関する証明書等	別表 1 に示す証明書等について、所有する全てのテスト・検定の書類(各テスト・検定の最高位のもの)の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。
⑧検 定 料	16,500円 本校所定の「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」(高専提出用)を出願書類に同封してください。なお、A T M(現金自動預払機)、携帯電話及びパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください(郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は14頁「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合について」をご覧ください)。 また、既納の検定料は以下の場合以外、いかなる理由があっても返還しません。 ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合
⑨返 信 用 封 筒 (受験票返送用)	志願者の郵便番号・住所・氏名等を記入し344円切手(速達郵便分)を貼付したもの。ただし、出願書類等を持参する場合は不要です。
⑩そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。なお、受理した出願書類は、返還しません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、在籍学校長から提出された推薦書、調査書、志望調査書及び英語の資格を総合判定して行います。ただし、本校以外の学校からの出願者に対しては面接を実施します。

4. 本校以外の学校からの出願者に対する面接試験の日時及び場所

期 日	試験区分	時 間	場 所
令和5年5月19日(金)	面 接	9:15～	福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川字長尾30)

※面接は、1人20分程度です。

5. 受験上の注意事項

- (1) 面接当日は、**8時40分**までに受付を済ませてください。**9時**から全体説明を行いますので、時間までに指定された受験者控室に入室してください。
- (2) 交通機関の混乱等、不測の事態に備え、受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3) 受験票及び筆記用具は、必ず持参してください。

6. 合格者の発表

令和5年5月25日（木）午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページにも掲載します。また、学校長あてに合否を文書で通知し、あわせて合格者には、「合格通知書」を送付します。

なお、電話等による合否の照会には、応じられませんのでご注意ください。

7. 「高等専門学校長の推薦による選抜」に合格しなかった者の取扱い

「高等専門学校長の推薦による選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力試験による選抜」の受験を希望する者は、「**学力試験による選抜**」に定めるところにより、**再度出願の手続き**を行ってください。

ただし、「調査書」及び「外国人登録原票記載事項証明書」の再提出は要しませんが、**検定料は必要**です。

8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「**入学確約書**」を**令和5年6月2日（金）17時必着**で本校学生課入試係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

9. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については、「**入学確約書**」提出者に、後日通知します。

V 学力試験による選抜

1. 出願資格

以下の(1)と(2)の両方を満たす者とします。

(1) 次の各号のいずれかに該当する者

- ① 高等専門学校を卒業した者及び令和6年3月に卒業見込の者
 - ② 短期大学を卒業した者及び令和6年3月に卒業見込の者
 - ③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者
 - ④ 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程を修了した者のうち、学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む）の規定により大学に編入学することができる者
 - ⑤ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
 - ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
 - ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑧ その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- （注）審査によって認定された科目及び専攻科教育課程表の科目だけでは専攻科の修了要件を満たさない場合は、不足の科目の補講等を受講し、学力試験を受け、定められた基準で合格しなければなりません。

(2) 英語において、別表2に挙げる各テスト・検定の証明書等を有している者

2. 出願手続

(1) 入学願書受付期間

- ① 期 間：令和5年6月7日(水)～6月9日(金)まで（郵送の場合は6月9日(金)16時必着）
受付時間は、9時～12時、13時～16時までとします。
- ② 場 所：福島工業高等専門学校 学生課入試係
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL：0246-46-0721 FAX：0246-46-0742
E-mail：nyuushi@fukushima-nct.ac.jp

(2) 出願書類：出願に必要な書類は、次のとおりです。

①入 学 願 書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
②受 験 票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
③写 真 票	本校所定の用紙に最近3カ月以内に撮影した上半身、正面脱帽の写真(4.5cm×3.5cm)を貼付し、所定の事項を記入したもの。
④調 査 書	本校所定の用紙により、在籍（出身）学校長が作成し、厳封したもの。
⑤志 望 調 査 書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
⑥英語の資格に関する証明書等	別表2に示す証明書等について、所有する全てのテスト・検定の書類（各テスト・検定の最高位のものの）の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。

⑦検 定 料	16,500円 本校所定の「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」(高専提出用)を出願書類に同封してください。なお、A T M(現金自動預払機)、携帯電話及びパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください(郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は14頁「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合について」をご覧ください)。 また、既納の検定料は以下の場合以外、いかなる理由があっても返還しません。 ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合
⑧返 信 用 封 筒 (受験票返送用)	志願者の郵便番号・住所・氏名等を記入し344円切手(速達郵便分)を貼付したもの。ただし、出願書類等を持参する場合は不要です。
⑨そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。なお、受理した出願書類は、返還しません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験、出身学校長から提出された調査書、志望調査書及び英語の資格(提出された書類の点数等を得点に換算し、これらが複数ある場合には、最も高い得点を採用し、学力点とみなす)を総合判定して行います。ただし、本校以外の学校からの出願者に対しては学力試験に加えて面接を実施します。

(1) 学力試験・面接等の日時及び場所 令和5年6月17日(土)

科 目 等	時 間	場 所
数 学 また は 小 論 文	9 : 00 ~ 10 : 30	福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川字長尾30)
専 門 科 目	10 : 50 ~ 12 : 50	
面 接 に 関 する 説 明	14 : 10 ~ 14 : 20	
面 接	14 : 20 ~	

※面接は、1人20分程度です。

(2) 学力試験科目及び出題範囲

専 攻 名	科 目	出 題 範 囲	備 考
産業技術システム工学専攻	数 学	基礎数学、線形代数、微分積分、 応用数学(①確率・統計、②ベクトル解析、 2科目のうちから1科目選択)	必 須
	専門科目	①工業力学、②材料力学、③水力学、④電気磁気学、 ⑤電子回路、⑥情報工学、 ⑦物理化学・分析化学・無機化学、 ⑧有機化学・生化学、⑨構造力学、⑩環境工学、 ⑪土木計画学	左欄の11科目のうち 2科目選択

ビジネスコミュニケーション学専攻	小論文	社会に関するテーマ 小論文（1200字程度）	必須
	専門科目	①経営学，②基礎会計学， ③数学（微分積分，確率・統計）	左欄の3科目のうち 1科目選択

4. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は，**8時40分**までに受付を済ませてください。**8時45分**から全体説明を行いますので，時間までに指定された受験者控室に入室してください。
- (2) 交通機関の混乱等，不測の事態に備え，受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3) 受験票及び筆記用具は，必ず持参してください。

5. 合格者の発表

令和5年6月22日(木)午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに，本校のホームページにも掲載します。また，合格者には「合格通知書」を送付します。

なお，電話等による可否の照会には，応じられませんのでご注意ください。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は，「入学確約書」を下記の期限までに本校学生課入試係に提出してください。

なお，期限までに「入学確約書」を提出しない者は，入学の意思がないものとして取り扱います。

入学確約書提出期限 **令和6年1月12日(金)17時必着**

7. 入学手続等

入学手続日，入学に必要な書類等については，「入学確約書」提出者に，後日通知します。

Ⅵ 社会人特別選抜

1. 出願資格

以下の（１）と（２）の両方を満たす者とします。

（１）次の各号のいずれかに該当する者で、**かつ出願時において企業等の在職経験が１年以上ある者**

- ① 高等専門学校を卒業した者
 - ② 短期大学を卒業した者
 - ③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者
 - ④ 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程を修了した者のうち、学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む）の規定により大学に編入学することができる者
 - ⑤ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
 - ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
 - ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑧ その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- （注）審査によって認定された科目及び専攻科教育課程表の科目だけでは専攻科の修了要件を満たさない場合は、不足の科目の補講等を受講し、学力試験を受け、定められた基準で合格しなければなりません。

（２）英語において、別表1に挙げる各テスト・検定の証明書等を有し、出願基準を満たしている者

2. 出願手続

（１）入学願書受付期間

- ① 期 間：**令和5年11月15日(水)～17日(金)まで**（郵送の場合は、**11月17日(金)16時必着**）
受付時間は、9時～12時、13時～16時までとします。
- ② 場 所：**福島工業高等専門学校 学生課入試係**
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL：0246-46-0721 FAX：0246-46-0742
E-mail：nyuushi@fukushima-nct.ac.jp

（２）出願書類：出願に必要な書類は、次のとおりです。

①入 学 願 書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
②受 験 票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
③写 真 票	本校所定の用紙に最近3カ月以内に撮影した上半身、正面脱帽の写真(4.5cm×3.5cm)を貼付し、所定の事項を記入したもの。
④承諾書又は 在職経験に関する証明書等	企業等に在職のまま出願を希望する者は、本校所定の用紙により、所属長が作成した 承諾書 を提出してください。それ以外の者は、企業等の在職経験が1年以上あることを証明する書類を提出してください（様式は自由）。
⑤調 査 書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
⑥志 望 調 査 書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。

⑦英語の資格に関する証明書等	別表1に示す証明書等について、所有する全てのテスト・検定の書類（各テスト・検定の最高位のもの）の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。
⑧検 定 料	16,500円 本校所定の「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」(高専提出用)を出願書類に同封してください。なお、A T M(現金自動預払機)、携帯電話及びパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください（郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は14頁「検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合について」をご覧ください）。 また、既納の検定料は以下の場合以外、いかなる理由があっても返還しません。 ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合
⑨返 信 用 封 筒 (受験票返送用)	志願者の郵便番号・住所・氏名等を記入し344円切手（速達郵便分）を貼付したもの。ただし、出願書類等を持参する場合は不要です。
⑩そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。なお、受理した出願書類は、返還しません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、調査書、志望調査書及び英語の資格並びに面接（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合判定して行います。

4. 面接試験の日時及び場所

期 日	試験区分	時 間	場 所
令和5年11月25日(土)	面 接 (口頭試問を含む)	9 : 15～	福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川字長尾30)

※面接は、1人30分程度です。

5. 受験上の注意事項

- (1) 面接当日は、**8時40分**までに受付を済ませてください。**9時**から全体説明を行いますので、時間までに指定された受験者控室に入室してください。
- (2) 交通機関の混乱等、不測の事態に備え、受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3) 受験票及び筆記用具は、必ず持参してください。

6. 合格者の発表

令和5年11月30日（木）午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページにも掲載します。また、合格者には「合格通知書」を送付します。

なお、電話等による可否の照会には、応じられませんのでご注意ください。

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を下記の期限までに本校学生課入試係に提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

入学確約書提出期限 **令和6年1月12日(金)17時必着**

8. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については、「入学確約書」提出者に後日通知します。

9. 長期履修学生制度

本専攻科では、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを願い出た者については、審査の上許可することがあります。

この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は標準修業年限による修了者と同じです。

この制度の詳細については、本校学生課入試係に問い合わせてください。

Ⅶ 個人情報の利用について

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的等にも利用しますのでご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅷ 特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本校では、受験及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っています。

相談を希望する入学志願者は、それぞれの入学願書受付期日1ヶ月前までに本校学生課入試係へ「特別措置申請書」を提出してください。必要に応じた適切な配慮を行います。「特別措置申請書」は、申し出があった時点で送付します。

特に、点字受験又は代筆による解答を希望する場合及び車椅子の使用など、事前に打ち合わせが必要な場合については、出願前の早い時期に申し出てください。

相談の内容及び時期によっては、試験までに対応できず、特別措置による受験ができなくなることもありますので、ご了承ください。

別表 1

福島工業高等専門学校 専攻科入学者選抜

英語に関する「推薦選抜・社会人特別選抜」の出願基準と提出書類

下表に示すスコア・級について，所有する全てのテスト・検定の書類（各テスト・検定の最高位のもの）の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。

テスト・検定の種別		出 願 基 準 (推薦・社会人用)	提 出 書 類
TOEIC	TOEIC公開テスト	産業技術システム工学専攻 300点以上 ビジネスコミュニケーション学専攻 500点以上	公式認定証 (Official Score Certificate)
	福島高専で実施した TOEIC-IP	産業技術システム工学専攻 300点以上 ビジネスコミュニケーション学専攻 500点以上	個人成績表 (Score Report)
TOEFL	TOEFL PBT (Paper-Based Test)	産業技術システム工学専攻 400点以上 ビジネスコミュニケーション学専攻 470点以上	公式スコア表 (Official Score Report) もしくは 受験者用控えスコア表 (Examinee Score Record)
	TOEFL IBT (Internet-Based Test)	産業技術システム工学専攻 32点以上 ビジネスコミュニケーション学専攻 52点以上	
実用英語技能検定		産業技術システム工学専攻 準2級以上 ビジネスコミュニケーション学専攻 2級以上	合格証明書

* TOEIC・TOEFLについては，各選抜試験実施日からさかのぼって2年を過ぎたものについては無効とします。

* 出願後のスコアや級の差し替えは認めません。

別表2

福島工業高等専門学校 専攻科入学者選抜

英語に関する提出書類（学力試験選抜）

下表に示すスコア・級について，所有する全てのテスト・検定の書類（各テスト・検定の最高位のもの）の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。

テスト・検定の種別		提出書類
TOEIC	TOEIC公開テスト	公式認定証 (Official Score Certificate)
	福島高専で実施した TOEIC-IP	個人成績表 (Score Report)
TOEFL	TOEFL PBT (Paper-Based Test)	公式スコア表 (Official Score Report) もしくは 受験者用控えスコア表 (Examinee Score Record)
	TOEFL IBT (Internet-Based Test)	
実用英語技能検定		合格証明書

* TOEIC・TOEFLについては，各選抜試験実施日からさかのぼって2年を過ぎたものについては無効とします。

* 出願後のスコアや級の差し替えは認めません。

◎検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合について

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合は次のような条件がありますので、ご利用の際はご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から検定料を振り込む場合は現金での振り込みはできず、口座からの振り込みのみ可能となっていますのでご注意ください。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。
- (2) ゆうちょ銀行から振り込む場合は、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書は使用できません。窓口で、ゆうちょ銀行専用の振込依頼書を受け取り、必要事項を記入して窓口から振り込みください。振り込みの際は、振り込み先を確認しますので、本校所定の振込依頼書も持参ください。なお、振り込み手数料はご負担ください。
- (3) 振り込み後は、窓口で「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」（以下、「振込受付書」という）を受領してください。また、出願の際にはこの振込受付書を出願書類に同封してください。なお、振込受付書はコピーを取り、コピーは大切に保管してください。
- (4) 検定料の振り込みは、ゆうちょ銀行ATM（現金自動預払機）からは行わないでください。

ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

8000034	振込依頼書(兼振替払出請求書) [電信扱い]	「ゆうちょ銀行」以外の銀行発行																
※本券からはお出しできないようにボールペンではっきりとご記入ください。※ ☐ 印欄は、該当の項目にシールをつけてください。 A 組合・協会の場合は裏面に記載のある方へご記入ください。																		
ご依頼日 年 月 日	※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。 ※お受取人負担のお取扱いはできません。																	
お受取人 おなまえ _____	金融機関名 _____ ☐ 銀行 ☐ 信託 ☐ 信用 ☐ 協同 ☐ その他 _____	支店名 _____ 支店 _____ 〒 _____																
預金種別 ☐ 1 普通貯蓄 ☐ 2 当座 ☐ 4 貯蓄 ☐ 9 その他の _____	口座番号 _____ 金額 _____	① 金額が印面に「A」まで記入してください。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>千</th><th>百</th><th>十</th><th>元</th><th>角</th><th>分</th><th>厘</th><th>銭</th></tr> <tr> <td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	千	百	十	元	角	分	厘	銭								
千	百	十	元	角	分	厘	銭											
おなまえ	様	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>振込金額</th><th>5万円未満</th><th>5万円以上</th></tr> <tr> <td>利息(消費税込)</td><td>648円</td><td>864円</td></tr> </table>	振込金額	5万円未満	5万円以上	利息(消費税込)	648円	864円										
振込金額	5万円未満	5万円以上																
利息(消費税込)	648円	864円																
おところ 〒 _____ フリガナ _____ おなまえ _____	通知番号 _____ ※お受取人に通知を希望される番号(最大10桁)がある場合 (お名前や姓に数字を入れる場合に有効)にご記入ください。																	
日中ご連絡先電話番号 _____	記号 _____ A _____ 番号(法廷でのご記入ください) _____																	
払出口座番号 _____	お届け印 _____																	
払出口座名義人(代理人) おところ _____ おなまえ _____	郵便番号 (-) ※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。																	
目録 電話年月日 振込回数 請求理由 支払口座番号	振込時期 振替番号 渡込先 お受取人 住所 振込口座 振込人 ご依頼	支払場所 代行店番号 係 係																
振込金額 合計金額	円 振込時金 円 払出時総額	円 (消費税等を含む。)																
① 振込手数料 ② 振込手数料 ③ 振込手数料 ④ 振込手数料 ⑤ 振込手数料 ⑥ 振込手数料 ⑦ 振込手数料 ⑧ 振込手数料 ⑨ 振込手数料 ⑩ 振込手数料																		

- ・ご依頼人には受験者の氏名を記載してください。
- ・福島高専には「お客様控え」を提出してください。

専攻科案内

1 専攻科の目的

本校の専攻科は、福島工業高等専門学校における5年一貫教育という特徴を生かした、教育課程のうえに、精深な程度において、学際的領域や広い視野に目を向けた高度な専門的学術を教授研究し、もって豊かな教養と人格を備え、広く産業の発展に寄与する人材を育成します。

2 専攻及び入学定員

産業技術システム工学専攻	16名
ビジネスコミュニケーション学専攻	4名
計	20名

3 修業年限及び修了要件等

- (1) 専攻科の修了に必要な単位数は、一般科目6単位以上、専門関連科目18単位以上、専門科目32単位以上、及びこれらの科目の合計で62単位以上とする。
- (2) 教育課程表に定める必修科目をすべて修得していること。
- (3) 教育課程表に定める選択必修科目は、所定の科目数以上を修得していること。
- (4) 学会等で特別研究に関する内容を発表していること。
- (5) 英語に関しては、「現代英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の内から2科目以上修得していること。

4 学位（学士）の取得

高等専門学校卒業生等が本校の専攻科で2年以上在学して所定の62単位以上を修得し、大学改革支援・学位授与機構の審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合は、学士の学位が取得できます。ただし、専攻科入学前の取得科目により、大学改革支援・学位授与機構が定める専攻に係わる授業科目・単位が不足するときには、他の高等教育機関等でそれらを取得する必要があります。

5 専攻科のディプロマポリシー（修了認定方針）

本校では、以下の「養成する人材像」に示す人材を育成する教育内容を学習し、「修了時に身につけるべき資質能力」を身に付け、所定の単位を修得し、修了要件を満たした学生に対して修了を認定します。

○養成する人材像

【工学系学科と産業技術システム工学専攻】

- ① 十分な基礎学力の上に専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるエンジニア
- ② イノベーションに即応するために、問題解決のみならず課題探究できるエンジニア
- ③ モノづくりと環境保全の調和に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できるエンジニア
- ④ グローバルなコミュニケーション能力を備え、ビジネス系の知識も獲得した実践的エンジニア

【ビジネス系学科とビジネスコミュニケーション学専攻】

- ① 自己実現ができるビジネス・スペシャリスト
- ② グローバルなコミュニケーション能力を有するビジネス・スペシャリスト
- ③ 論理的思考に優れたビジネス・スペシャリスト
- ④ 長期的な視野をもち、持続可能な社会の実現に貢献するビジネス・スペシャリスト

○専攻科課程の各専攻で養成する人材像

【産業技術システム工学専攻】

本科の機械システム工学科，電気電子システム工学科，化学・バイオ工学科，都市システム工学科のそれぞれの専門分野の基礎学力を充実させ，その応用性や専門性を深める。

また復興人材育成特別プログラムにより地域復興に活躍できる人材を育成する。

本専攻は次の4つのコースから成る。

〈生産・情報システム工学コース〉

機械系・電気系の材料工学分野及び機械加工系，電子・情報工学系を融合した教育・研究を行う。機械設計関連，システム制御関連，電子物性関連及び情報関連分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び生産・情報分野で活躍できる人材を育成する。

このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムのロボット技術，メカトロニクス，防災通信等と密接に関係しており，これらの分野で地域の復興に活躍できる人材も育成する。

〈エネルギーシステム工学コース〉

機械系・電気系のエネルギー関連分野の教育・研究を行う。エネルギー分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び，機械・電気関連のエネルギー分野で活躍できる人材を育成する。

このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムの再生可能エネルギー分野，原子力安全工学分野にも密接に関係しており，エネルギー関連産業で活躍できる人材も育成する。

〈化学・バイオ工学コース〉

応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の教育・研究を行う。化学・バイオ工学科（準学士課程）専門分野の基礎学力をさらに充実させ，その専門性を高める。さらに，現代の応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野における先端技術やその動向に柔軟に対応できる人材を育成する。

このコースの教育研究は，復興人材育成特別プログラムの放射線計測関連分野に関係しており，廃炉技術の重要な一分野である放射線及び放射性物質の取扱いの分野で活躍できる人材も育成する。

〈社会環境システム工学コース〉

建設・環境系の教育・研究を行う。土木工学と環境工学に関する専門知識を修得し，さらに関連科目の履修を通して複眼的視野を深める。これらを通して日々進化する先端技術に柔軟に対応しつつ，環境に配慮することのできる建設技術を身につけた人材を育成する。

このコースの教育研究は，復興人材育成特別プログラムの減災工学分野に関係しており，まちを災害から守る技術分野や災害復興に取り組む分野で活躍できる人材も育成する。

【ビジネスコミュニケーション学専攻】

準学士課程のビジネスコミュニケーション学科の専門的な基礎学力を充実させ，その応用性や専門性を深めることで，地域社会の発展に貢献するとともに，グローバルに活躍できる人材を育成する。本専攻は次の1つのコースから成る。

〈ビジネスコミュニケーション学コース〉

準学士課程のビジネスコミュニケーション学科で習得した社会学系知識の応用力を育み，さらに専

門性を深める科目を履修する。くわえて、工学系とビジネス系のシナジー効果を期待できる科目を履修することにより、工学の基礎知識と国際社会で通用するビジネスコミュニケーション能力を併せ持つ人材を育成する。

このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムの各分野に関係しており、社会の持続可能性に配慮しながら地域社会の発展に貢献するとともに、たしかなコミュニケーション能力と国際感覚をもち、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍できる人材も育成する。

○専攻科修了時に身に付けるべき学力や資質・能力

1. 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力
2. 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力
3. モノづくりやデザイン能力を有し、工学系科目－ビジネス系科目の協働（シナジー）効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力
4. 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力
5. 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力

6 専攻科のカリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

本校では、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を身につけるため、次のような教育課程の編成方針、および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

○編成方針

- (1) 準学士課程（本科）においては、くさび型※の構成であり、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」を身に付けるための必修科目、選択科目を適切に設定した、5年一貫の体系的な教育課程を編成する。
専攻科においては、準学士課程の内容からの接続、発展を考慮した、より高度な教育課程を編成する。
※くさび型の教育課程：低学年次においては一般科目を多く配置し、学年の進行に伴い専門科目を多く配置する教育課程
- (2) 「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を深化させるため、高学年、および専攻科においては、モノづくり、校外での体験、問題解決能力の養成等に関する科目を開設する。
- (3) 教育課程を編成するに当たっては、全学年で基本的な知識・技能の修得、それらを応用し思考、判断する能力の修得、それらを自発的に学習できる態度・志向性を修得できるように配慮して、科目配置や科目毎の授業内容や授業計画を設計しシラバスに記載し、シラバスにしたがい教育を実施する。

○成績評価基準

- (1) 科目の成績評価は、定期試験の成績および平素の成績をもとに行う。評価方法はシラバスに記載し、記載された評価方法に基づいて公平に成績評価を実施する。
- (2) 講義科目では主に定期試験等の筆記試験により、演習科目では筆記試験やレポート等を総合的に勘案し、さらに、実験・実習科目ではレポートや授業態度等により評価する。
- (3) 科目の成績評価結果は100点法で行い、60点以上を合格とする。
- (4) 各科目について、成績評価が60点以上の場合は単位の修得を認定する。

○専攻科課程 各専攻、コースごとの教育課程編成方針

ディプロマポリシーで掲げた能力を育成するために、各専攻各コースでは、以下の科目群を系統的に編成する。

【産業技術システム工学専攻】

〈生産・情報システム工学コース〉

1. 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
2. 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、機械工学や電気電子工学を基盤として、生産・制御・情報・通信に関連した専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
3. モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学×ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
4. 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
5. 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

〈エネルギーシステム工学コース〉

1. 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
2. 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるように、機械工学や電気電子工学を基盤として、流体・熱・電力・エネルギー等に関連した専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
3. モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学×ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
4. 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
5. 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

〈化学・バイオ工学コース〉

1. 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
2. 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、応用化学や生物工学を基盤とした専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
3. モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学×ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
4. 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターン

- シップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
5. 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

〈社会環境システム工学コース〉

1. 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
2. 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、土木工学や環境工学を基盤とした専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
3. モノづくりやシステムデザイン能力を有し、工学－ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力を修得できるように、産業技術システム工学やビジネスコミュニケーション学に関連する他分野の科目を設け、実験・実習および講義を主とした学修を実施する。
4. 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
5. 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

【ビジネスコミュニケーション学専攻】

〈ビジネスコミュニケーション学コース〉

1. 地球的視野から人や社会や環境に配慮でき、生涯にわたって主体的に学び続ける能力を修得できるように、理系教養科目および文系教養科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
2. 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を修得できるように、経営学を基盤とした専門科目を設け、講義を主とした学修を実施する。
3. 工学－ビジネスのシナジー効果により複眼的な視野から問題を見つけ解決する能力を修得できるように、ビジネスコミュニケーション学や産業技術システム工学に関連する他分野の科目を設け、実習・演習および講義を主とした学修を実施する。
4. 国際社会で必要な情報処理能力およびコミュニケーション能力を修得できるように、インターンシップや特別研究等の議論および発表を伴う科目を設け、実験・実習を主とした学修を実施する。
5. 福島イノベーション・コースト構想の基本理念を理解し、地域産業基盤の構築に貢献できる能力を修得できるように、復興人材育成科目を設け、講義を主とした学修を実施する。

7 専攻科の科目構成

生産情報システム工学コース（機械工学） 一般科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	SDGs探究	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅰ	2	2				専攻外	
選 択	日本文化論	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅱ	2		2			専攻外	
	現代英語Ⅲ	2			2		専攻外	
	グローバル研修	1	(1)				専攻外	
開 設 単 位 計		11	8 (1)		2 (1)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

生産情報システム工学コース（機械工学） 専門関連科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	システムデザイン	2	2				専門	
	産業財産権	2	2				関連	
	応用解析学	2	2				関連	
	産業技術論	2		2			関連	
	材料科学	2			2		関連	
	製品開発論	2				2	関連	
	産業安全工学総論	2				2	関連	復興人材育成特別科目
選 択	力学総論	2	2				関連	
	現代化学	2	2				関連	
	環境保全工学	2	2				関連	復興人材育成特別科目
	応用電子制御工学	2	2				関連	
	数理計画論	2		2			関連	
	科学技術史	2			2		関連	
	減災工学	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	都市経済学	2				2	関連	復興人材育成特別科目
	システム論	2				2	関連	
	電力流通工学	2				2	関連	復興人材育成特別科目
	電子物性工学	2				2	関連	
	応用電磁気学	2				2	関連	
	応用半導体工学	2				2	関連	
開 設 単 位 計		40	18		22			

生産情報システム工学コース（機械工学） 専門科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	特別研究Ⅰ	6	6				専門	復興人材育成特別科目
	特別研究Ⅱ	10			10		専門	
	生産管理論	2	2				専門	
	品質工学	2	2				専門	
	情報科学論	2		2			専門	
	応用メカトロニクス	2			2		専門	
	制御システム工学	2			2		専門	
	産業応用情報工学	2			2		専門	
	応用塑性加工学	2			2		専門	
	熱流体工学	2				2	専門	
	インターンシップA	2	(2)				関連	
選 択	インターンシップB	2	(2)				関連	
	インターンシップC	2	(2)				関連	
開 設 単 位 計		38	12 (6)		20 (6)			
開 設 単 位 合 計		89	38 (7)		44 (7)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

生産情報システム工学コース（電気電子工学） 一般科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	SDGs探究	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅰ	2	2				専攻外	
選 択	日本文化論	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅱ	2		2			専攻外	
	現代英語Ⅲ	2			2		専攻外	
	グローバル研修	1	(1)				専攻外	
開 設 単 位 計		11	8 (1)		2 (1)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

生産情報システム工学コース（電気電子工学） 専門関連科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	システムデザイン	2	2				関連	
	生産管理論	2	2				関連	
	産業財産権	2	2				関連	
	応用解析学	2	2				関連	
	産業技術論	2		2			関連	
	製品開発論	2				2	関連	
	産業安全工学総論	2				2	関連	復興人材育成特別科目
選 択	力学総論	2	2				関連	
	現代化学	2	2				関連	
	環境保全工学	2	2				関連	復興人材育成特別科目
	科学技術史	2			2		関連	
	材料科学	2			2		関連	
	減災工学	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	応用塑性加工学	2			2		関連	
	応用メカトロニクス	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	都市経済学	2				2	専攻外	復興人材育成特別科目
	システム論	2				2	関連	
	熱流体工学	2				2	関連	
開 設 単 位 計		36	16		20			

生産情報システム工学コース（電気電子工学） 専門科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	特別研究Ⅰ	6	6				専門	
	特別研究Ⅱ	10			10		専門	
	応用電子制御工学	2	2				専門	
	数理計画論	2		2			専門	
	情報科学論	2		2			専門	
	インターンシップA	2	(2)				関連	
選 択	品質工学	2	2				関連	
	産業応用情報工学	2			2		専門	
	制御システム工学	2			2		専門	
	電子物性工学	2				2	専門	
	応用電磁気学	2				2	専門	
	応用半導体工学	2				2	専門	
	電力流通工学	2				2	専門	復興人材育成特別科目
	インターンシップB	2	(2)				関連	
	インターンシップC	2	(2)				関連	
開 設 単 位 計		42	14 (6)		22 (6)			
開 設 単 位 合 計		89	38 (7)		44 (7)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

エネルギーシステム工学コース（機械工学） 一般科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	SDGs探究	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅰ	2	2				専攻外	
選 択	日本文化論	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅱ	2		2			専攻外	
	現代英語Ⅲ	2			2		専攻外	
	グローバル研修	1	(1)				専攻外	
開 設 単 位 計		11	8 (1)		2 (1)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

エネルギーシステム工学コース（機械工学） 専門関連科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	システムデザイン	2	2				専門	
	エネルギー変換工学	2	2				関連	
	産業財産権	2	2				関連	
	応用解析学	2	2				関連	
	産業技術論	2		2			関連	
	材料科学	2			2		関連	
	製品開発論	2				2	関連	
	産業安全工学総論	2				2	関連	復興人材育成特別科目
選 択	力学総論	2	2				関連	
	現代化学	2	2				関連	
	環境保全工学	2	2				関連	復興人材育成特別科目
	応用電子制御工学	2	2				関連	
	数理計画論	2		2			関連	
	科学技術史	2			2		関連	
	減災工学	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	都市経済学	2				2	関連	復興人材育成特別科目
	システム論	2				2	関連	
	電力流通工学	2				2	関連	復興人材育成特別科目
	電子物性工学	2				2	関連	
	応用電磁気学	2				2	関連	
	応用半導体工学	2				2	関連	
開 設 単 位 計		42	20		22			

エネルギーシステム工学コース（機械工学） 専門科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	特別研究Ⅰ	6	6				専門	
	特別研究Ⅱ	10			10		専門	
	生産管理論	2	2				専門	
	品質工学	2	2				専門	
	情報科学論	2		2			専門	
	応用メカトロニクス	2			2		専門	復興人材育成特別科目
	制御システム工学	2			2		専門	
	産業応用情報工学	2			2		専門	
	応用塑性加工学	2			2		専門	
	熱流体工学	2				2	専門	
	インターンシップA	2	(2)				関連	
選 択	インターンシップB	2	(2)				関連	
	インターンシップC	2	(2)				関連	
開 設 単 位 計		38	12 (6)		20 (6)			
開 設 単 位 合 計		91	40 (7)		44 (7)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

エネルギーシステム工学コース（電気電子工学） 一般科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	SDGs探究	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅰ	2	2				専攻外	
選 択	日本文化論	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅱ	2		2			専攻外	
	現代英語Ⅲ	2			2		専攻外	
	グローバル研修	1	(1)				専攻外	
開 設 単 位 計		11	8 (1)		2 (1)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

エネルギーシステム工学コース（電気電子工学） 専門関連科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	システムデザイン	2	2				関連	
	エネルギー変換工学	2	2				関連	
	生産管理論	2	2				関連	
	産業財産権	2	2				関連	
	応用解析学	2	2				関連	
	産業技術論	2		2			関連	
	製品開発論	2				2	関連	
	産業安全工学総論	2				2	関連	復興人材育成特別科目
選 択	力学総論	2	2				関連	
	現代化学	2	2				関連	
	環境保全工学	2	2				関連	復興人材育成特別科目
	科学技術史	2			2		関連	
	材料科学	2			2		関連	
	減災工学	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	応用塑性加工学	2			2		関連	
	応用メカトロニクス	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	都市経済学	2				2	専攻外	復興人材育成特別科目
	システム論	2				2	関連	
	熱流体工学	2				2	関連	
開 設 単 位 計		38	18		20			

エネルギーシステム工学コース（電気電子工学） 専門科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	特別研究Ⅰ	6	6				専門	
	特別研究Ⅱ	10			10		専門	
	応用電子制御工学	2	2				専門	
	数理計画論	2		2			専門	
	情報科学論	2		2			専門	
	インターンシップA	2	(2)				関連	
選 択	品質工学	2	2				専門	
	産業応用情報工学	2			2		専門	
	制御システム工学	2			2		専門	
	電子物性工学	2				2	専門	
	応用電磁気学	2				2	専門	
	応用半導体工学	2				2	専門	
	電力流通工学	2				2	専門	復興人材育成特別科目
	インターンシップB	2	(2)				関連	
	インターンシップC	2	(2)				関連	
開 設 単 位 計		42	14 (6)		22 (6)			
開 設 単 位 合 計		91	40 (7)		44 (7)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

化学・バイオ工学コース 一般科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	SDGs探究	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅰ	2	2				専攻外	
選 択	日本文化論	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅱ	2		2			専攻外	
	現代英語Ⅲ	2			2		専攻外	
	グローバル研修	1	(1)				専攻外	
開 設 単 位 計		11	8 (1)		2 (1)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

化学・バイオ工学コース 専門関連科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	システムデザイン	2	2				専門	
	生産管理論	2	2				関連	
	産業財産権	2	2				関連	
	応用解析学	2	2				関連	
	産業技術論	2		2			関連	
	製品開発論	2				2	関連	
	産業安全工学総論	2				2	関連	復興人材育成特別科目
選 択	力学総論	2	2				関連	
	現代化学	2	2				関連	
	環境保全工学	2	2				関連	復興人材育成特別科目
	情報科学論	2		2			関連	
	数理計画論	2		2			関連	
	科学技術史	2			2		関連	
	応用メカトロニクス	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	減災工学	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	都市経済学	2				2	関連	復興人材育成特別科目
	システム論	2				2	関連	
	電力流通工学	2				2	関連	復興人材育成特別科目
開 設 単 位 計		36	20		16			

化学・バイオ工学コース 専門科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	特別研究Ⅰ	6	6				専門	
	特別研究Ⅱ	10			10		専門	
	物質プロセス化学	2	2				専門	
	応用材料化学	2			2		専門	
	生体分子機能工学	2				2	専門	
	材料科学	2			2		専門	
	インターンシップA	2	(2)				関連	
選択必修	応用合成化学	2			2		専門	3 科目以上修得すること
	構造物理化学	2			2		専門	
	応用有機化学	2			2		専門	
	現代分析化学	2			2		専門	
選 択	インターンシップB	2	(2)				関連	
	インターンシップC	2	(2)				関連	
開 設 単 位 計		38	8 (6)		24 (6)			
開 設 単 位 合 計		85	36 (7)		42 (7)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

社会環境システム工学コース 一般科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	SDGs探究	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅰ	2	2				専攻外	
選 択	日本文化論	2	2				専攻外	
	現代英語Ⅱ	2		2			専攻外	
	現代英語Ⅲ	2			2		専攻外	
	グローバル研修	1	(1)				専攻外	
開 設 単 位 計		11	8 (1)		2 (1)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

社会環境システム工学コース 専門関連科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	システムデザイン	2	2				専門	
	生産管理論	2	2				関連	
	産業財産権	2	2				関連	
	応用解析学	2	2				関連	
	産業技術論	2		2			関連	
	製品開発論	2				2	関連	
	産業安全工学総論	2				2	関連	復興人材育成特別科目
選 択	力学総論	2	2				関連	
	現代化学	2	2				関連	
	情報科学論	2		2			関連	
	科学技術史	2			2		関連	
	材料科学	2			2		関連	
	応用メカトロニクス	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	都市経済学	2				2	関連	復興人材育成特別科目
	システム論	2				2	関連	
	電力流通工学	2				2	関連	復興人材育成特別科目
開 設 単 位 計		32	16		16			

社会環境システム工学コース 専門科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	特別研究Ⅰ	6	6				専門	
	特別研究Ⅱ	10			10		専門	
	環境保全工学	2	2				専門	復興人材育成特別科目
	構造解析論	2	2				専門	
	数理計画論	2		2			専門	
	水工学	2			2		専門	
	減災工学	2			2		専門	復興人材育成特別科目
	地盤工学特論	2			2		専門	
	維持・管理工学	2				2	専門	
	水環境工学	2				2	専門	
	インターンシップA	2	(2)				関連	
選 択	インターンシップB	2	(2)				関連	
	インターンシップC	2	(2)				関連	
開 設 単 位 計		38	12 (6)		20 (6)			
開 設 単 位 合 計		81	36 (7)		38 (7)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

ビジネスコミュニケーション学コース 一般科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
選択必修	現代英語Ⅰ	2	2				専攻外	2科目以上修得すること
	現代英語Ⅱ	2		2			専攻外	
	現代英語Ⅲ	2			2		専攻外	
選 択	SDGs探究	2	2				専攻外	
	日本文化論	2	2				専攻外	
	グローバル研修	1	(1)				専攻外	
開 設 単 位 計		11	8 (1)		2 (1)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

ビジネスコミュニケーション学コース 専門関連科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	システムデザイン	2	2				専門	
	産業財産権	2	2				関連	
	産業技術論	2		2			関連	
	経済産業論	2			2		関連	復興人材育成特別科目
	製品開発論	2				2	専門	
	都市経済学	2				2	関連	復興人材育成特別科目
選 択	環境保全工学	2	2				専攻外	復興人材育成特別科目
	現代化学	2	2				専攻外	
	科学技術史	2			2		専攻外	
	ビジネス英語	2				2	専攻外	
	減災工学	2			2		専攻外	復興人材育成特別科目
	産業安全工学総論	2				2	専攻外	復興人材育成特別科目
開 設 単 位 計		24	10		14			

ビジネスコミュニケーション学コース 専門科目

必修選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当（時間数）				特例 申請	備 考
			1 年		2 年			
			前期	後期	前期	後期		
必 修	特別研究Ⅰ	6	6				専門	
	特別研究Ⅱ	8			8		専門	
	経営学演習	2	2				専門	
	新事業開発	2	2				専門	
	生産管理論	2	2				専門	
	データ分析論	2	2				専門	
	財務諸表論	2	2				専門	
	広告メディア論	2	2				専門	
	経営管理論	2		2			専門	
	グローバル経営論	2			2		専門	
	経営分析論	2				2	専門	
	インターンシップA	2	(2)				関連	
選 択	情報科学論	2				2	専門	
	システム論	2				2	専門	
	インターンシップB	2	(2)				関連	
	インターンシップC	2	(2)				関連	
開 設 単 位 計		42	20 (6)		16 (6)			
開 設 単 位 合 計		77	38 (7)		32 (7)			

() の数字は開講期を指定しない単位で外数

8 専攻科の入学及び進路状況

(1) 専攻科の入学定員等

専攻科の各専攻の入学定員及び対応する準学士課程（基礎となる学科）は次のとおりです。

専 攻 科		準学士課程（基礎となる学科）	
専 攻 名	入学定員	学 科 名	入学定員
産業技術システム工学専攻	16人	機械システム工学科	40人
		電気電子システム工学科	40人
		化学・バイオ工学科	40人
		都市システム工学科	40人
ビジネスコミュニケーション学専攻	4人	ビジネスコミュニケーション学科	40人
計	20人	計	200人

(2) 修了後の進路（令和2年3月以降）

① 大学院への進学先等

山形大学大学院 東北大学大学院 東北大学会計大学院 福島大学大学院 筑波大学大学院 茨城大学大学院 宇都宮大学大学院 東京工業大学大学院 横浜国立大学大学院 新潟大学大学院 長岡技術科学大学大学院 京都大学大学院 京都工芸繊維大学大学院 北陸先端科学技術大学院大学 高知大学大学院 山口大学大学院 首都大学東京大学院 慶應義塾大学大学院

② 主な就職先等

あすか製薬(株) (株)富士通エフサス (株)ナカニシ (株)クレハ 古河電池(株) 三菱重工業(株)
 富士通クラウドテクノロジーズ(株) (株)ウェディングパーク 富士電機(株) 花王(株)
 オムロンフィールドエンジニアリング(株) JX金属(株) 東京電力ホールディングス(株)
 三菱ガス化学(株) 東急電鉄(株) (株)日水コン (株)東コンサルタント 中外製薬工業(株)
 エアポートメンテナンスサービス(株) (株)建設技術研究所 東京水道(株) 応用地質(株)
 アルプスアルパイン(株) ADK富士システム(株) (有)栗林会計事務所 日本スキー場開発(株)
 三菱電機エンジニアリング(株) (株)TBSアクト NOK(株) キヤノンメディカルシステムズ(株)
 JR東日本コンサルタンツ(株) 城北化学工業(株) (株)ネクスコ・エンジニアリング東北
 東京ガスネットワーク(株) 大日精化工業(株) 東日本旅客鉄道(株) (株)近代設計
 (一財)光科学イノベーションセンター (国研)日本原子力研究開発機構 国土交通省東北地方整備局
 いわき市役所 郡山市役所 北茨城市役所 横浜市役所 浜松市役所

9 入学時に必要な諸経費（予定）

種 別	金 額	備 考
入 学 料	84,600円	入学手続き時に納入する。
授 業 料	117,300円	年額234,600円を2期に分けて納入する。（在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。）一括納入もできます。
教 科 書 代	未 定	各専攻により別途指定します。
学 生 会 費	8,500円	本校本科以外からの入学者は、入会金1,000円が別途必要になります。
後 援 会 費	6,000円	本校本科以外からの入学者は、入会金10,000円が別途必要になります。

10 入学料・授業料の免除

(1) 入学料免除

入学前1年以内に学資負担者が死亡し、または風水害などの災害を受け、入学料納付が非常に困難であるなどの場合は、入学料が免除される制度があります。

(2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料全額または半額が免除される制度があります。

11 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、学業、人物ともに優れ、かつ健康であって、授業料の納付が困難であると認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

12 復興人材育成特別プログラム

福島高専専攻科では、文部科学省の平成23年度「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」に採択されたことを受け、平成25年4月から再生可能エネルギー、原子力安全、減災工学の3分野において地域復興に必要な教育を実施するため、復興人材育成特別コースを開設しました。

平成27年度から専攻科改組に伴い、「復興人材育成特別コース」は「復興人材育成特別プログラム」となり、上記3分野における地域復興に必要な教育は継続して行われます。

復興人材育成特別プログラムはどの専攻からでも選択することができます。

入学後はそれぞれの専攻、コースに所属し、専門の復興関連科目を履修することになります。

〔出 願 書 類〕

- 1 専攻科入学願書
- 2 写真票・受験票
- 3 推薦書（推薦選抜用）
- 4 承諾書（社会人特別選抜用）
- 5 調査書
- 6 専攻科志望調査書（推薦選抜用・社会人特別選抜用）

令和6年度 専攻科 入学願書

福島工業高等専門学校

志望専攻		専攻		受験番号	※
試験科目 (専門)選択 (番号を記入し てください)		産業技術システム工学専攻（2科目）		ビジネスコミュニケーション学専攻（1科目）	
志	ふりがな 氏 名				生年月日 平成 年 月 日
	ふりがな 現 住 所	〒 — 電話番号（ ） —			
願	出 身	高等専門学校 学科 短期大学 科 専修学校 科 平成・令和 年 月 卒業・卒業見込み・修了・修了見込み			
		学 校	〒 — 所 在 地 電話番号（ ） —		
者	学 歴	自 平成・令和 年 月 日			
		至 平成・令和 年 月 日			
		自 平成・令和 年 月 日			
		至 平成・令和 年 月 日			
	職 歴	自 平成・令和 年 月 日			
		至 平成・令和 年 月 日			
		自 平成・令和 年 月 日			
		至 平成・令和 年 月 日			
勤 務 先	名 称 (部課まで)				
	所 在 地	〒 — 所 在 地 電話番号（ ） —			
合格通知等 を受ける場所		〒 — 所 在 地 電話番号（ ） —			

〔記入上の注意〕

1. 黒又は青のボールペンで記入してください。
2. ※印欄は記入しないでください。
3. 「性別」, 「元号」, 「卒業・卒業見込み」, 「修了・修了見込み」欄は、該当する文字を○で囲んでください。
4. 学歴及び職歴欄は、高等専門学校又は高等学校卒業から記入してください。
5. 勤務先欄は、企業等に在職のまま入学を希望する方のみ記入してください。

写真票

受験番号	※
志望専攻	専攻
ふりがな 氏 名	

写真貼付

タテ4.5cm
ヨコ3.5cm

最近3ヵ月以内に上半身、脱帽、正面向きで撮影したものを貼ってください。

票 驗 受

受験番号	※
志望専攻	専攻
ふりがな 氏名	
試験日時 令和 年 月 日（ ） 時 分	
試験場所 福島工業高等専門学校	
・ 試験当日は，8時40分までに受付を済ませてください。 ・ 本票は試験が終了するまで必ず携帯してください。 ・ 本票を忘れたとき又は紛失したときは直ちに検査本部へ届け出て指示を受けてください。	

※印欄は，記入しないでください。

きりはないでください

受験番号	※
------	---

推 薦 書

令和 年 月 日

福島工業高等専門学校長 殿

学 校 名

学校長氏名

印

下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい
資質を持つ者と認め推薦します。

記

志望専攻			
ふりがな 氏 名		所 属 科	学科
		生年月日	平成 年 月 日生
推 薦 理 由			
そ の 他 参 考 事 項			

※印欄は、記入しないでください。

受験番号

※

承 諾 書

令和 年 月 日

福島工業高等専門学校長 殿

所 在 地

企 業 等 名

所 属 長

印

下記の者が、貴校専攻科社会人特別選抜へ出願することを承諾します。

記

志 望 専 攻 名

出 願 者 氏 名

生 年 月 日 昭和・平成 年 月 日生

所属部・課・係

在 職 期 間 平成・令和 年 月 日～

※印欄は、記入しないでください。

調 査 書

志 望 専 攻	専 攻				受験番号	※
ふりがな 氏 名 生 年 月 日	平成 年 月 日生		男・女	学 校 学科名	国立 公立 私立	高等専門学校 短 期 大 学 専 修 学 校 学科
平成 年 月 日 入 学 編入学 転入学			平成 ・ 令和 年 月 日		卒業・卒業見込 修了・修了見込	
成績証明書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長(学長)が作成したものを添付の上厳封すること。修得単位数が明記されているもの。(成績の評定基準を右表に明示すること。)			評 定 基 準	評定の区分	点 数 の 範 囲
						点 ～ 点
						点 ～ 点
						点 ～ 点
						点 ～ 点
学科内席次	1年	人中 位 (点)	4年	人中 位 (点)		
	2年	人中 位 (点)	5年	人中 位 (点)		
	3年	人中 位 (点)				
卒業研究題目						
卒業研究要旨						
在学中の状況						
上記の通り相違ないことを証明する。 令和 年 月 日 学 校 名 校長・学長氏名 印						

記入上の注意

- ※印欄は、記入しないでください。
- 学科内席次欄の括弧内には、学年末成績一覧表における当該受験生の平均点を記入してください。
- 在学中の状況欄は、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。

推薦選抜用
学力選抜用
社会人特別選抜用

専攻科志望調査書

福島工業高等専門学校

志望専攻	専攻	受験番号	※
ふりがな 氏 名		生年月日 平成 年 月 日生	
専攻科を志望する理由			
専攻科で特に学修・研究を希望する分野と内容			
専攻科修了後の進路に対する抱負			

記入上の注意

黒又は青ボールペンで記入してください。

専攻科のアドミッションポリシーにも関連付けて記載してください。

※印欄は記入しないでください。

令和6年度 福島工業高等専門学校検定料納入書

(高専提出用)

SE	
住 所	〒 電話 — —
フリガナ	
氏 名	

金融機関領収印
1 3ヶ所押印
¥ 16,500

※裏面にある「納入上の注意」をよく読んで手続きをしてください。

受験番号 SE

切り取らずに窓口にお出しください

令和6年度 福島工業高等専門学校検定料振込金(兼手数料)受取書

(本人保管用領収書)

SE	
フリガナ	
氏 名	様
振込先銀行	東邦銀行 いわき営業部 普通預金 2325328
口 座 名	独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 清水 宣彦
金 額	¥ 16,500
手 数 料	円

金融機関領収印
左記の金額受け取りました
2 3ヶ所押印

切り取らずに窓口にお出しください

振 込 依 頼 書

電信扱

※取扱金融機関へお願い
必ず打電してください。氏名の前に記号を

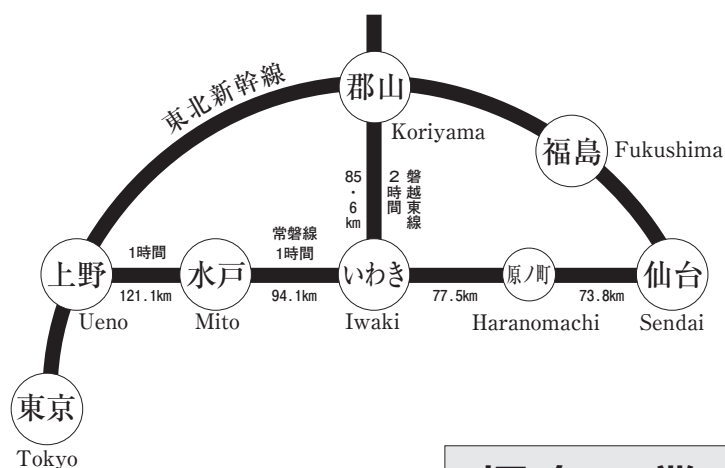
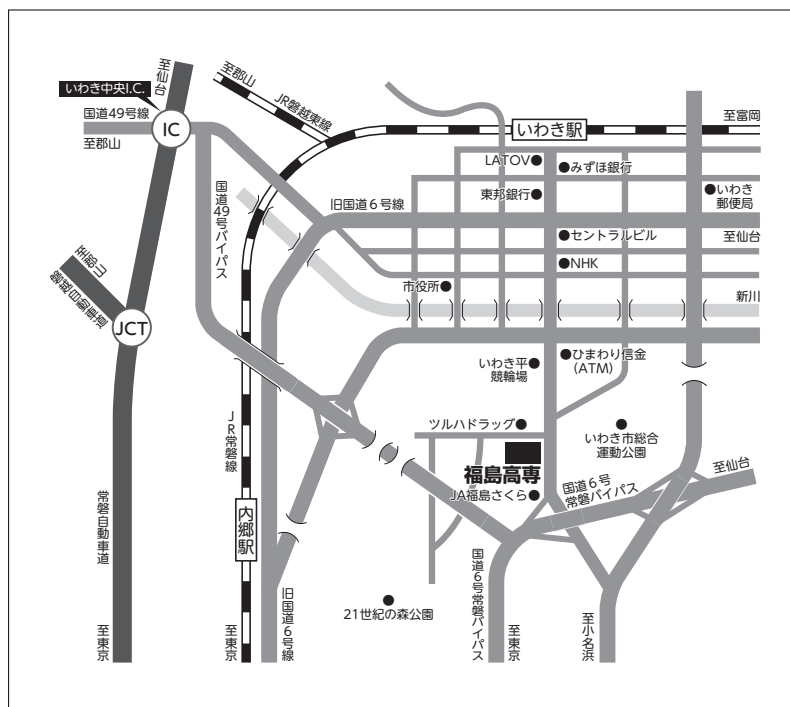
依 頼 日	年 月 日	振込指定	電 信 扱	手数料						円
受 取 人	振込先 銀 行	東邦銀行 いわき営業部	金 額							
		普通預金 2 3 2 5 3 2 8								
口 座 名	コウセンキコウホンブ	内 訳	現 金							
	独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 清水 宣彦		当店券							
ご 依 頼 人	記 号	受験者氏名 (カタカナ)	他店券							
	SE		◎振込手数料はご依頼人負担となります。							
	受験者氏名 (漢字)		収納印または振替印							
	住 所	〒	3 3ヶ所押印							
	電話	— —								

納入上の注意

1. 太枠内をペンまたはボールペンで記入してください。
2. 金融機関の窓口へ持参し振り込んでください。A T M（現金自動預支払機）、携帯電話及びパソコン等からの振り込みはできませんので、ご注意ください。
3. 振込手数料が別途必要ですのでご負担願います。
4. 「納入書」と「振込金(兼手数料)受取書」は、金融機関領収印があることを確認の上受け取ってください。
5. 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合、もしくは誤って二重に振り込んだ場合は検定料の返還請求ができますので、下記に申し出てください。

検定料返還に関する問合せ先

総務課財務係（電話 0246-46-0716）



福島工業高等専門学校

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30